

診療科目

内分泌代謝・糖尿病、血液、肝臓・膵臓・胆道、消化管

専門医研修指導医

責任者：小川佳宏 教授
 実務者：伊原栄吉准教授（消化器代謝学）、国府島庸之准教授、
 宮澤崇講師、坂本竜一講師、知念孝敏講師
 大野隆真助教、佐藤直市助教、荻野治栄助教
 中嶋康博助教、藤森尚助教、田中正剛助教（生医研）
 松田やよい助教、横溝久助教、田中義将助教
 合谷孟助教、土師正二郎助教、井上智彰助教
 馬越洋宣助教、竹野歩助教



2020年度 内科専攻医研修 43名

取得可能な認定医・専門医

全員が取得できるもの：内科認定医、内科専門医
 研修領域により取得できるもの：総合内科専門医、内分泌代謝専門医、糖尿病専門医、消化器病専門医、
 肝臓専門医、消化器内視鏡専門医、血液専門医、
 膵臓学会指導医、胆道学会指導医、リウマチ専門医、アレルギー専門医
 がん薬物療法専門医、がん治療認定医、など

専門医研修システム

内分泌代謝・糖尿病、血液、肝臓・膵臓・胆道、消化管を専攻する場合には各専門領域毎の研修を行います。
 これらの領域を広く研修する内科総合コース、消化器領域を全般的に研修する消化器総合コースもあります。

◆ 内分泌代謝・糖尿病領域

- 内分泌代謝疾患・糖尿病の診療を系統的に研修し、以下の発展的知識と実践力を習得する。
- ・薬物負荷検査や画像検査による内分泌機能評価と疾患診断を行える。
 - ・各種内分泌疾患に対する薬物療法、RI療法、手術療法の適切な選択が出来る。
 - ・甲状腺エコー、甲状腺穿刺吸引細胞診の手技を習得する。
 - ・糖尿病、肥満症診療を取り巻く社会的背景と治療目標を念頭に適切な治療法選択と在宅自己管理を含めた患者教育と説明が可能になる。
 - ・糖尿病合併症の検査・治療計画を立案し、チーム医療のリーダーシップをとる。

◆ 血液領域

- 内科一般の研修を基礎として血液疾患、膠原病、感染症に関わる専門的知識と技能を習得する。
- ・血液疾患、膠原病に対する治療方針を決定し、適切な化学療法や生物学的製剤の選択が出来る。
 - ・適切で安全な輸血を行える
 - ・骨髓検査や中心静脈確保を安全に施行でき、正確に骨髓像を評価することが出来る。
 - ・抗癌剤の髄腔内投与を含め各種化学療法を安全に施行できる。
 - ・関節X線、エコーを施行できる。
 - ・感染症の診断、治療が適切に行える。

◆ 消化器領域

消化器領域専門の場合、肝臓・膵臓・胆道・消化管全ての領域について網羅的に研修を行い腹部超音波検査や内視鏡検査等の基本検査の習得と各種疾患に対する治療法を習得する。
 肝臓・膵臓・消化管の各専門領域の研修では、更に高度な治療手技と専門的知識の習得を目指す。

肝臓領域

- ・RFA・PEITなど肝局所療法を含めた肝癌に対する治療手技の習得と適切な治療法の選択を行う。
- ・慢性肝障害（ウイルス性肝炎、自己免疫関連）に対するサーベイランスと治療方針の策定。
- ・急性肝不全に対する適切な病態評価と集学的治療を実行する。
- ・胃食道静脈瘤に対する内視鏡的手技を習得する。

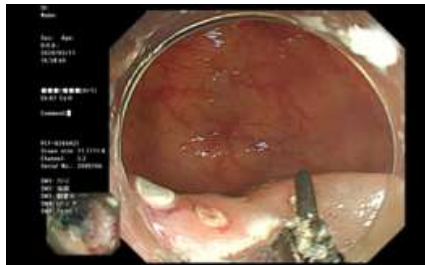
膵臓・胆道領域

- ・難治性悪性腫瘍である膵癌、胆道癌、希少癌である神経内分泌腫瘍を正確に診断し適切な治療選択と合併症マネジメントを行う。

- ・重症急性膵炎に対して他科との緊密な連携のもとで集学的治療を遂行する。
- ・胆道疾患に対する適切な診断を行い、最新の技術を用いた治療に取り組む。
- ・ERCP, EUSなどの胆膵内視鏡手技を習得する。

消化管領域

- ・消化管腫瘍性疾患の正確な診断とESDなどの新たな技術を用いた内視鏡治療を行う。
- ・炎症性腸疾患に対して新規治療を含め症例に見合った治療を遂行する。
- ・消化管運動機能異常症に対して特殊検査を含めた病態の把握と適切な治療を行う。
- ・超音波内視鏡を用いた上部・下部・小腸の内視鏡診断や治療を行う。



代謝系 内分泌代謝・糖尿病

内科の主要な領域を網羅

生活習慣病、消化器疾患、がん

総合的包括的な内科学教室

血液系

血液・腫瘍・膠原病・感染症

消化器系

肝・胆・膵・消化管

- ※ 主な関連施設 九州医療センター、小倉医療センター、別府医療センター
福岡東医療センター、九州がんセンター、北九州市立医療センター
福岡市民病院、済生会福岡総合病院、麻生飯塚病院、九州労災病院など

診療科の活動 / PR

九州大学第三内科（病態制御内科）は大正6年1月に新設され、100年近くの歴史を持ち、長い歴史と豊富な人材を要する総合内科学教室です。内分泌代謝・糖尿病、血液、肝臓、膵臓、消化器の5つの研究室を有しそれぞれが専門的視点から診療に当たる一方、お互い密接に連携して一人の患者さんを総合的に捉え、質の高い医療を提供します。

日本内科学会を含めた各種学会の認定施設も多数関連施設に持ち、充実した関連施設と指導医の元で研修を行えます。北部九州に関連病院が集中し、互いに連携しているのも大きな特徴です。

自由闊達な雰囲気のもと個人の実力が十分に発揮される環境が整っており、広い視野を持った総合力のある医師を育てます。女性医師も多く所属し個人の事情に見合ったキャリアアップが可能です。

第三内科の誇る三本柱



連絡先

電話： 092-642-5278 FAX： 092-642-5287
E-mail： 3nikyoku@med.kyushu-u.ac.jp
担当者： 医局長 国府島 庸之（こうじま もとゆき）
診療科HP：<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/intmed3/>